

平成 29 年度北区地域支援連絡会議から
北区地域福祉推進会議へ

◆ ニーズキャッチの網の目をどう広げるか

- ・ 地域の中の気づき、声なき声のニーズキャッチ(論点 1)
- ・ 監視にならない当事者の思いを大切にする見守り(論点 2)
- ・ 信頼関係を持ちながら、網の目を広げる(論点 3)
- ・ 地域の中での相談窓口のあり方(論点 4)

◆ 地域と専門職の情報共有

- ・ 地域と専門職の情報共有
地域支援活動者の思い→情報が少ない、支援が継続できない(論点 5)
専門職の思い→個人情報に配慮し、整理した情報の共有(論点 5)
- ・ 共有した情報のその先が見えない

◆ 支援を的確につなげるアセスメントの場

- ・ ニーズキャッチをしたうえで、多様な視点でアセスメントを行う場の必要性
(論点 5)

◆ 地域で支援している人たちが、一緒に“北区の地域づくり”
について話せる場

- ・ 地域、専門職、関係機関、行政等が、一緒に話ができる場(論点 5)
- ・ 支援者が課題解決だけでなく、互いの悩みやつらさを共有できる場(論点 5)
- ・ 課題を抱え込む地域福祉コーディネーターの孤立を防ぐ(論点 7)
- ・ 地域福祉コーディネーターの重要性・継続性の担保(論点 7)